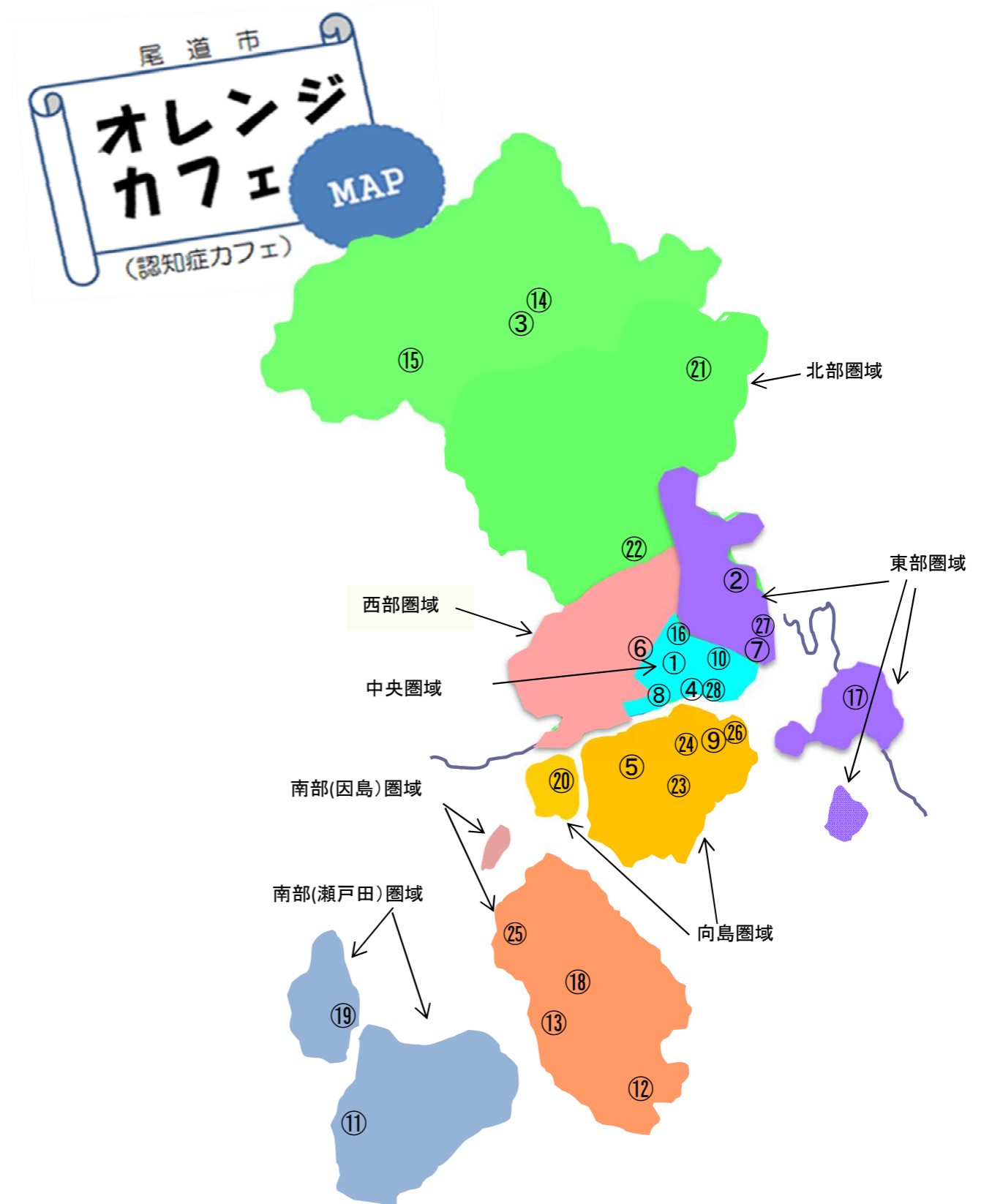


オレンジカフェ（認知症カフェ）の特徴

地域の人々が認知症というキーワードのもと、ひとりの地域住民として支え合うためのつながりの場であり、そのために必要な情報交換が行われる場です。これまでの活動との大きな違いは、子どもから大人、高齢者といった世代の枠を超えて、認知症であるかそうでないかという線引きをせず、誰もが参加できる間口の広さにあります。また、どんな人でも受け入れるハードルの低さがあります。「支援する、支援される」という関係ではなく、水平の関係で、専門職も一緒に情報交換を行う、「認知症」をキーワードにした集まりです。



(矢吹知之/ベレ・ミーセン編著 認知症カフェ企画・運営マニュアルより抜粋)



♪ オレンジカフェでのんびりしませんか ♪

オレンジカフェ（認知症カフェ）とは、認知症の人やご家族、地域の方、専門職等の誰もが参加でき、お茶を飲みながら、日頃の悩みや病気などについて気軽に語り合い、情報交換や相談、交流等をするのできる自由な集まりです。

尾道市内では上記のカフェが開設されています。たまにはのんびりと、お茶でも飲みに出かけませんか。



尾道市では、オレンジカフェ（認知症カフェ）開設に取り組む団体を支援するため助成事業をおこなっています。

制作：（社会福祉法人）尾道市社会福祉協議会
〒722-0017 尾道市門田町22-5
電話0848-(22)8385 FAX0848(20)0120